

**製品名: プレフォールディン 1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab16482**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	14kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PFDN1
別名	PFDN1; PFD1; Prefoldin subunit 1
遺伝子 ID	5201.0
SwissProt ID	O60925
免疫原	抗血清はヒト PFDN1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50

**背景**

この遺伝子は、プレフォールディン  $\beta$  サブユニットファミリーのメンバーをコードしています。コードされているタンパク質は、プレフォールディンの6つのサブユニットのうちの1つです。プレフォールディンは、新しく合成されたポリペプチドに結合して安定

化させ、正しく折り畳むことを可能にする分子シャペロン複合体です。2つの $\alpha$ サブユニットと4つの $\beta$ サブユニットからなるこの複合体は、6つの突出したコイルドコイルを持つ二重 $\beta$ パレルアセンブリを形成します。[RefSeq 提供、2008年7月],機能: 細胞質シャペロニン (c-CPN) に特異的に結合し、標的タンパク質を c-CPN へ輸送します。新生ポリペプチド鎖に結合し、非天然タンパク質が競合する経路が多数存在する環境において、折り畳みを促進します。、類似性: プレフォールディング  $\beta$  サブユニットファミリーに属します。、サブユニット: 2つの PFD- $\alpha$  型サブユニットと4つの PFD- $\beta$  型サブユニットからなるヘテロヘキサマー。、

## 研究分野

シグナル伝達、タンパク質輸送、シャペロン、その他のシャペロン、エピジェネティクスと核シグナル伝達、転写、転写因子

## 画像データ

